

(別添 4)

【沖縄県渡嘉敷村】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1 人 1 台端末とクラウドツールの利用により、データ利活用による個別最適な学びと協働的な学びを充実するとともに教師の負担を軽減する。

学習履歴、健康診断情報等のデータ利活用により、全ての児童生徒が適切な教育を受けられる環境を整備する。

一斉授業か個別学習か、デジタルかアナログかといった「二項対立」に陥らないことに留意しつつ、教育 DX を推進する。

2. GIGA 第 1 期
の総括

GIGA 第 1 期では、村立学校教職員と児童生徒にアカウント配布を行い 1 人 1 台端末の整備を実施した。しかし、端末利用開始後に多くの台数に耐えうるネットワーク環境が問題となり、R5 年度に LTE モデルの端末を整備した。令和 6 年度にネットワークアセスメントを実施し GIGA 第 2 期向けネットワーク環境改善に向けた対応を行う。

これらの ICT 環境の整備に加え、渡嘉敷村教育委員会では教職員の研修の充実を図り、教職員の ICT 活用指導力の向上に努めてきた。今後も、全ての学校が授業や校務において ICT を積極的に活用できるよう、研修を実施する。

3. 1 人 1 台端末の利活用方法

令和 7 年度に予定している端末の整備・更新及びネットワーク環境の整備により、1 人 1 台端末環境を引き続き整備する。

校内研修の積極的な実施と活用により、1 人 1 台端末を文房具として毎日使う活用の構築を目指す。

また、授業において児童生徒が自ら調べ考えをまとめて発表する場面を設定することや、教職員と児童生徒、児童生徒同士がチャット等でやりとりできる環境、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組める環境を整備する。

特別支援教育においては、障害のある児童生徒や合理的配慮を要する児童生徒への支援に取り組む。